

第10回 関東甲信越フロアホッケー競技大会 報告書



2023年6月16日(金)～17日(土)
ホワイトリング(長野市真島総合スポーツアリーナ)



長野県フロアホッケー連盟

【大会開催趣旨】

スペシャルオリンピックスから生まれたフロアホッケーの普及啓発、競技力の向上を図るため、多くの人に参加でき、共に楽しめる競技会を開催する。もって連盟設立の趣旨であるフロアホッケー競技を通じて、障がいの有無、性別、年齢等を超えた誰にでも住みやすい社会の創造を推進する。

目次

ごあいさつ	1
大会概要	3
来賓	6
実行委員会・組織図	6
スタッフ・ボランティア	8
競技日程・競技結果	9
参加チーム	11
参加チームの感想	13
なーのちゃん新聞	14
協賛各社	

【ごあいさつ】

第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会が多くの皆様のご支援とご協力のもと成功裏に閉会を迎えたこと、心から感謝申し上げます。

4年ぶりの開催となりました今大会では県内外から12チームがフロアホッケーの聖地である長野市ホワイトリングに集い、プレーヤー、コーチ、観客、スタッフ、ボランティアすべての人たちがフロアホッケーをとおしてインクルーシブな気持ちを共有できたと思います。今大会は、After Corona のリスタートの大会として、「3年間のブランクを少しでも埋める」ことを最優先に運営してきましたが、スペシャルオリンピックス日本との連携による体験会の開催など新たな取り組みも行うことができ、当初予定を上回る、また、フロアホッケーの将来を見据えることができる素晴らしい大会となりました。

わたしたちは、今後もフロアホッケーの体験会や大会の開催による「インクルージョン社会の創出」を目指していきたいと思います。

長野県フロアホッケー連盟では、今年、11月に中信地区フロアホッケー交流大会の開催を計画しています。多くのチームのご参加をお願いします。

みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

Do Sports!

第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会

大会長 関 隆教

(長野県フロアホッケー連盟会長)

第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会が、4年振りで無事開催できましたことに、心から感謝と御礼を申し上げます。

参加をいただいた、12チームの選手、コーチの皆さん、主管されている長野県フロアホッケー連盟をはじめとするスタッフ・ボランティアの皆さん、そして熱い声援をいただいたサポーターの皆さん、すべての皆様のご協力とご支援で、素晴らしい大会となりました。

コートの中で、障害の有無・年齢・性別など、さまざまな違いを乗り越えて、パックを夢中になって追いかける選手たちを観ていると、「インクルージョン社会」実現の想いが、育まれていることを実感します。

今年是最優秀チーム賞（信濃毎日新聞社杯）を松本市で活動しているチーム「M-ya!-echoes 山 with ゴシ隊」に贈りました。強いチームワークとガッツ溢れるプレーを最後まで展開してくれました。心からお祝いを申し上げます。

フロアホッケーを通じて、インクルージョン社会の輪がますます大きくなって、来年もまた長野の地でお会いできることをとても楽しみにしています。

第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会

実行委員長 有賀 寛

梅雨時の信州に向日葵のような笑顔が溢れました。「関東甲信越フロアホッケー競技大会」が4年ぶりに開催され、ホワイトリングは熱戦に包まれたのです。長野は日本のスペシャルオリンピックスの発祥の地、フロアホッケーにとっても聖地ですね。皆さん故郷に帰ってきたような喜びもあったと思います。

開会式では始球式があり、地元実行委員会や参加アスリート代表の方々と同時にパックをシュート。5人中4人がパックをゴール。私ももちろんゴール。誰が外したかは内緒です。その後、出場12チームがまずはクラス分けの試合を行い、4つのディヴィジョンに分かれて熱戦がスタート。1点入るごとに大きな歓声上がり、久しぶりに思いっきり声を出してスポーツできる喜び、応援する幸せを感じました。

感動したのは体験会です。私は初めて基礎から勉強しました。午前中は子ども対象で、午後には大人。私は午前中の子どもの部に参加。(参加人数の都合で、身長で選ばれたのではないですよ) スペシャルオリンピックス日本のスポーツプログラム委員である星野敦子さんを中心に、スティックの持ち方から始まり、パス、ドリブル、シュートなど一生懸命教えてくれました。基本を体験した後は2チームに分かれて模擬試合。夫が気負い過ぎて、フェンスをなぎ倒す大転倒をしてしまったのですが、「大丈夫ですか」とスッと手を差し出したのは7歳の少年でした。すご〜くカッコよかったです。

応援して楽しみ、体験して楽しみ、フロアホッケーの魅力を丸一日たっぷり感じられる素晴らしい大会となりました。皆さん、ありがとうございました。

特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟
理事長 増田 明美



【開催要項】

- 1 大会の名称
第 10 回関東甲信越フロアホッケー競技大会
- 2 開催趣旨
スペシャルオリンピックスから生まれたフロアホッケーの普及啓発、競技力の向上を図るため、多くの人に参加でき、共に楽しめる競技会を開催する。もって連盟設立の趣旨であるフロアホッケー競技を通じて、障がいの有無、性別、年齢等を超えた誰にでも住みやすい社会の創造を推進する。
- 3 主催
特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟
- 4 主管
長野県フロアホッケー連盟
- 5 運営
第 10 回関東甲信越フロアホッケー競技大会実行委員会

* 構成団体
特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟、長野県フロアホッケー連盟、信濃毎日新聞社、一般社団法人長野県医師会、一般社団法人長野県歯科医師会、公益社団法人長野県柔道整復師会、公益社団法人長野県看護協会、株式会社エフピコ、CS ネットワーク長野、ゆうきのつばさイベント実行委員会、清泉女学院地域連携センター、きさらぎ Jr.、長野ゴシ隊、松本フロアホッケークラブ (M-ya!-echoes)
- 6 後援・協力
長野県、長野県教育委員会、長野市、長野市教育委員会、社会福祉法人長野県社会福祉協議会、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、INC長野ケーブルテレビ、公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー、日本マクドナルド株式会社、スーパースポーツゼビオ長野南高田店、熊本県フロアホッケー連盟、大分県フロアホッケー連盟、東京都フロアホッケー連盟
- 7 期日
令和 5 年 6 月 16 日 (金) レフェリー講習会、インストラクター講習会
6 月 17 日 (土) 試合、体験会
- 8 会場
長野市真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング) メインアリーナ
- 9 競技種別
フロアホッケー 一般の部

10 日程

① 6月16日(金)

15:00~17:00 レフェリー講習会、インストラクター講習会

② 6月17日(土)

8:00~ 8:15 チーム(選手団)受付

8:30~ 監督・コーチ会議

9:00~ 開会式

9:30~15:00 競技

10:00~11:00 体験会(1)

13:00~14:00 体験会(2)

15:00~14:00 表彰式、閉会式

*表彰式は競技終了後にディビジョン毎に、または複数のディビジョン合同で行う。

全ディビジョン競技終了後に最優秀チームの表彰を行う。

11 参加資格

日本フロアホッケー連盟に登録する選手・チームで、過去に日本フロアホッケー連盟が規定する ClassC 以上の大会、日本フロアホッケー連盟(支部を含む)主催の交流戦、体験会等に参加経験があること。

選手登録・ベンチ入りは11名以上16名以内とする。

本大会は、長野県フロアホッケー連盟が主催・主管する大会に参加したチームを中心に開催案内を行う選抜・選定方式とする。

12 参加チーム

15チーム以内

13 ディビジョニング

チームの過去に参加した大会、体験会のスキル及び自己申告等に基づいて、大会実行委員会で仮ディビジョニング(クラス分け)を行い、大会当日のディビジョニングゲーム(クラシフィケーション試合:3ライン)により、ディビジョンを確定する。

14 競技規則

スペシャルオリンピックス国際本部(SOI)が定めるフロアホッケールール及び日本フロアホッケー連盟が定める本大会特別ルールにより行う。

15 コート

日本フロアホッケー連盟公認のバウンダリーボード(ウレタン製)を使用する。

16 競技用具

- ・手袋（クッション性のあるスキー手袋等）は参加者が用意する。
- ・シンガード、スティック、ヘルメット、キーパー用防具・キーパー用スティック等は原則参加者が用意する。ただし、用意ができない場合は、大会実行委員会が貸与する。

17 参加料

チーム	1チーム当たり 5,000 円
個人（保険料等）	参加者（選手、コーチ、サポーター）1名当たり 700 円

※保険は大会参加のプレーヤー、コーチなどベンチ入りする者のケガ等に適用

18 表彰

- ① ディビジョン表彰
各ディビジョン全てのチームに表彰状と参加者全員にメダルを贈呈
- ② 最優秀チーム
各ディビジョンの1位のチームから最優秀チームを決定し、「信濃毎日新聞社杯」（持ち回り）を授与

19 交通費、宿泊費、食事代

長野（会場）までの交通費・宿泊費、食事代は、チーム(個人)が負担する。

20 参加申込方法

別紙「第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会参加申込書・チーム登録票」に記入の上、「第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会事務局」宛に電子メール、郵送又はファクシミリ送信する。

21 選抜期間

- <1次選抜> 令和5年3月20日（月）～3月30日（木）
- <2次選抜> 令和5年4月10日（月）～4月21日（金）
- *2次選抜は、1次選抜で参加予定チーム数に達していない場合に実施

22 その他

長野市内で宿泊を希望される参加者（チーム、スタッフ、来賓）には、大会事務局で宿泊施設を斡旋する。

23 申し込み・問い合わせ先

長野県フロアホッケー連盟事務局内
第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会実行委員会事務局
〒380-0821 長野市鶴賀上千歳町 1120-17 Alegria ビル7階
電話&ファクシミリ：026-225-5657 メール：fhjapan@mx2.avis.ne.jp

【来賓】

(順不同・敬称略)

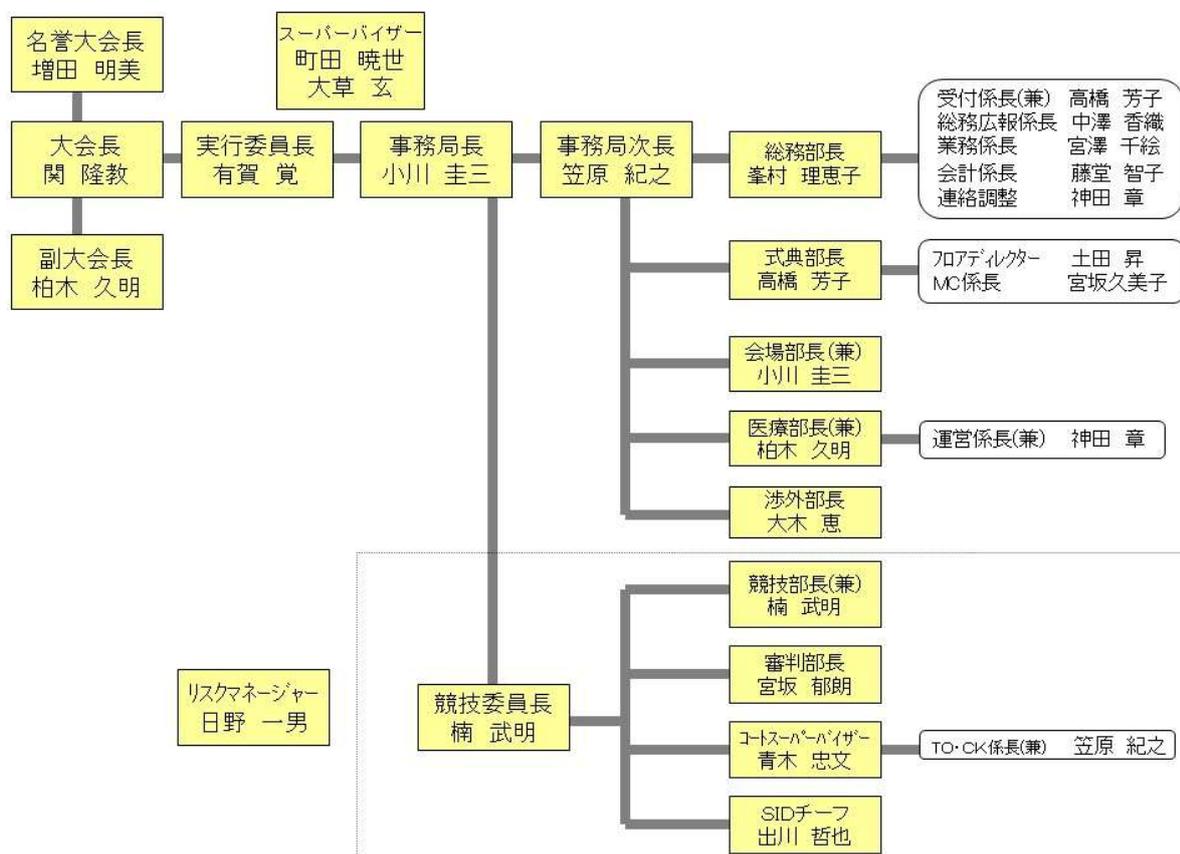
藤木 秀明	長野県健康福祉部障がい者支援課長
鈴木 秀規	長野市文化スポーツ振興部長
小松 裕	前衆議院議員 長野県フロアホッケー連盟顧問
金澤 敦志	長野市議会議員 日本フロアホッケー連盟監事
田口 正彦	スペシャルオリンピックス日本
藤原 昭	長野市障害者スポーツ協会 事務局長
古海 奈央	日本マクドナルド株式会社 東日本地区本部マーケット開発推進チーム
榎本 誠一	クオリティフーズ株式会社 マクドナルド埴生原信店店長
且田 久雄	エフピコダックス株式会社 代表取締役会長
鈴木 俊亮	株式会社サンラッキー 商品開発部
田原 直人	クオリティフーズ株式会社 オペレーションコンサルタント
緑川 正彦	長野県障がい者スポーツ協会

【実行委員会】

役職名	氏名	所属
名誉大会長	増田 明美	NPO法人日本フロアホッケー連盟理事長
大会長	関 隆教	(一社)長野県医師会顧問 ＜長野県フロアホッケー連盟会長＞
副大会長	柏木 久明	(公社)長野県柔道整復師会会長 ＜長野県フロアホッケー連盟副会長＞
実行委員長	有賀 覚	信濃毎日新聞社 事業局長
事務局長	小川 圭三	長野県フロアホッケー連盟・事務局長
事務局次長	笠原 紀之	長野県フロアホッケー連盟・事務局次長
実行委員	富岡 優	(一社)長野県歯科医師会 ＜長野県フロアホッケー連盟副会長＞
実行委員	金児 晴夫	(一社)長野県歯科医師会 ＜長野県フロアホッケー連盟理事＞
実行委員	山本 かづ子	(公社)長野県看護協会 ＜長野県フロアホッケー連盟理事＞
実行委員	宮下 厚	(公社)長野県柔道整復師会 ＜長野県フロアホッケー連盟理事＞
実行委員	西條 賢治	(公社)長野県柔道整復師会 ＜長野県フロアホッケー連盟理事＞
実行委員	三澤 茂明	(公社)長野県柔道整復師会 ＜長野県フロアホッケー連盟理事＞
実行委員	若麻績 享則	長野県フロアホッケー連盟監事

実行委員	大木 恵	ゆうきのつばさいベント実行委員会
実行委員	高橋 芳子	CSネットワーク長野
実行委員	土田 昇	CSネットワーク長野
実行委員	川上 都子	松本フロアホッケークラブ(M-ya!-echoes)
実行委員	鶴田 志珠	きさらぎJr.
実行委員	峯村 理恵子	個人
実行委員	神田 章	長野県フロアホッケー連盟理事
実行委員	青木 忠文	長野県フロアホッケー連盟理事
実行委員	宮坂 郁朗	長野県フロアホッケー連盟理事
実行委員	出川 哲也	長野県フロアホッケー連盟理事
実行委員	長橋 俊哉	長野県フロアホッケー連盟理事
実行委員	宮坂 久美子	長野県フロアホッケー連盟理事
実行委員	楠 武明	長野県フロアホッケー連盟・事務局次長
実行委員	藤堂 智子	長野県フロアホッケー連盟理事
実行委員	日野 一男	NPO法人日本フロアホッケー連盟理事
実行委員	町田 暁世	NPO法人日本フロアホッケー連盟事務局長
実行委員	宮澤 千絵	NPO法人日本フロアホッケー連盟
実行委員	中澤 香織	NPO法人日本フロアホッケー連盟

【組織図】



【スタッフ・ボランティア】

(順不同・敬称略)

氏名	所属	担当
齋藤 衛	日本フロアホッケー連盟	レフェリー
笠原 恒彦	長野県フロアホッケー連盟	レフェリー
大塚 慎也	エフピコ	レフェリー
村沢 克彦	日本フロアホッケー連盟	レフェリー
早見 克也	東京都フロアホッケー連盟	レフェリー
宗 清一郎	東京都フロアホッケー連盟	レフェリー
高野 康	東京都フロアホッケー連盟	レフェリー
澤谷 壮史	東京都フロアホッケー連盟	レフェリー
倉地 昭重	長野県フロアホッケー連盟	レフェリー
近藤 裕章	エフピコ	レフェリー
星野 敦子	スペシャルオリンピックス日本	体験会
岸田 大輔	スペシャルオリンピックス日本	体験会
中里 圭一	スペシャルオリンピックス日本	体験会
傳田 木夏	清泉女学院地域連携センター	競技
依田 朋夏	清泉女学院地域連携センター	競技
平坂 麗子	CS ネットワーク長野	来賓・式典
綿貫 万喜子	CS ネットワーク長野	来賓・式典
土田 春子	CS ネットワーク長野	受付・式典
小林 正孝	CS ネットワーク長野	受付・式典
浅井 茂	CS ネットワーク長野	受付・式典
市川 真一	CS ネットワーク長野	受付・式典
平井 克明	CS ネットワーク長野	受付・式典
五十嵐 景子	CS ネットワーク長野	受付・式典
真島 亜沙花	CS ネットワーク長野	受付・式典
高原 義勝	(公財) 長野県柔道整復師会	医療
高山 美咲	(公財) 長野県看護協会	医療
久保田 敦洋	(公財) 長野県看護協会	医療



【競技日程】

8:00 ~	チーム（選手団）受付
8:30 ~	監督・コーチ会議（大会本部にて）
9:00 ~	開会式

	Iコート	IIコート	IIIコート
9:30	Vi-① KAAC イエロー vs どんぐり・ブラボー	Vi-② どんぐり・エース vs エフピコ東京ピンクパンサーズ	Vi-③ エフピコ茨城 nevers vs にこにこ中部
10:00	Vi-⑤ ホワイトシュリンプス vs Goshitai Jr.	Vi-⑥ M-ya!-echoes 雅 & Kisaragi vs 湘南シーガル	Vi-⑦ KAAC レッド vs M-ya!-echoes 山 with ゴシ隊
10:30	デビゾヨ決定ミーティング	デビゾヨ決定ミーティング	デビゾヨ決定ミーティング
11:10	A-① ホワイトシュリンプス vs KAAC レッド	C-① KAAC イエロー vs M-ya!-echoes 雅 & Kisaragi	B-① Goshitai Jr. vs M-ya!-echoes 山 with ゴシ隊
12:10	D-① 湘南シーガル vs にこにこ中部	C-② エフピコ茨城 nevers vs M-ya!-echoes 雅 & Kisaragi	B-② Goshitai Jr. vs エフピコ東京ピンクパンサーズ
13:10	D-② 湘南シーガル vs どんぐり・ブラボー	A-② KAAC レッド vs どんぐり・エース	B-③ M-ya!-echoes 山 with ゴシ隊 vs エフピコ東京ピンクパンサーズ
14:10	D-③ にこにこ中部 vs どんぐり・ブラボー	A-③ ホワイトシュリンプス vs どんぐり・エース	C-③ KAAC イエロー vs エフピコ茨城 nevers
15:00			表彰式
15:30			閉会式

【競技結果】

信濃毎日新聞杯（総合優勝）

M-ya!-echoes 山 with ゴシ隊



ディビジョンA

優勝 ホワイトシュリンプス（富山大学）

準優勝 KAAC レッド（KAAC）

第3位 どんぐり・エース（きさらぎジュニア）

	ホワイトシュリンプス	KAACレッド	どんぐりエース	勝	負	分	ポイント	得失点	順位
ホワイトシュリンプス		6 - 2	6 - 4	2	0	0	6	+6	1
KAACレッド	2 - 6		7 - 4	1	1	0	3	-1	2
どんぐりエース	4 - 6	4 - 7		0	0	0	0	-5	3

ディビジョンB

優勝 Goshitai Jr.（長野県フロアホッケー連盟）

準優勝 どんぐり・ブラボー（きさらぎジュニア）

第3位 エフピコ東京ピンクパンサーズ（株式会社エフピコ）

	Goshitai Jr.	どんぐりブラボー	エフピコ東京 ピンク パンサーズ	勝	負	分	ポイント	得失点	順位
Goshitai Jr.		7 - 0	10 - 0	2	0	0	6	+17	1
どんぐりブラボー	0 - 7		2 - 1	1	1	0	3	-6	2
エフピコ東京 ピンクパンサーズ	0 - 10	1 - 2		0	0	0	0	-11	3

ディビジョンC

優勝 M-ya!-echoes 山 with 長野ゴシ隊（松本フロアホッケークラブ）

準優勝 KAAC イエロー（KAAC）

第3位 湘南シーガル（湘南シーガル）

	KAACイエロー	M-ya!-echoes山 with 長野ゴシ隊	湘南シーガル	勝	負	分	ポイント	得失点	順位
KAACイエロー		3 - 5	5 - 3	1	1	0	3	±0	2
M-ya!-echoes山 with 長野ゴシ隊	5 - 3		3 - 0	2	0	0	6	+5	1
湘南シーガル	3 - 5	0 - 3		0	0	0	0	-5	3

ディビジョンD

優勝 M-ya!-echoes 雅 & Kisaragi (松本フロアホッケークラブ)

準優勝 エフピコ茨城 nevers (エフピコフロアホッケークラブ茨城)

第3位 にこにこ中部 (エフピコフロアホッケークラブ中部)

	M-ya!-echoes 雅 & Kisaragi	エフピコ茨城 nevers	にこにこ中部	勝	負	分	ポイント	得失点	順位
M-ya!-echoes雅 & Kisaragi		6 - 4	5 - 5	1	0	1	4	+2	1
エフピコ茨城 nevers	4 - 6		5 - 2	1	1	0	3	+1	2
にこにこ中部	5 - 5	2 - 5		0	0	0	0	-3	3

【参加チーム】 一般の部

M-ya!-echoes 山 with ゴシ隊

(松本フロアホッケークラブ)



Goshitai Jr. (長野県フロアホッケー連盟)

M-ya!-echoes 雅 & Kisaragi

(松本フロアホッケークラブ)



湘南シーガル (湘南シーガル)



KAAC イエロー (KAAC)



どんぐり・エース (きさらぎジュニア)



エフピコ東京ピンクパンサーズ (株式会社エフピコ)



にこにこ中部 (エフピコフロッホークラブ 中部)



KAAC レッド (KAAC)



どんぐり・ブラボー (きさらぎジュニア)



エフピコ茨城 nevers (エフピコフロッホークラブ茨城)



ホワイトシュリンプス (富山大学)



【参加チームの感想】



エフピコ茨城 nevers

(エフピコフロアホッケークラブ茨城)



- * 4年ぶりの大会に出場し、久しぶりに長野市のホワイトリングで出来たことが嬉しかった。惜しくも銀メダルだったので、もっともっと練習をして強くなって金メダルを目指したい。今回、初めて他のチームのテーブルオフィシャルを担当した。難しかった。他のチームの試合を見ながらTOをやり、勉強になった。自分のチームの役に立てたいと思った。もっと書き方を覚えたい。
- * パスが上手く受け取れなくて悔しかった。もっともっと強くなりたい。
- * ゴールキーパーで相手のシュートをとめることができた。準優勝だったが、できれば優勝をめざしたい。相手のチームは強かった。
- * 面白かった。またやりたい。
- * 点が取れなかった。悔しい。
- * コロナの影響で今まで大会に出られなかったが、できて楽しかった。
- * 銀メダルをとって良かった。次は、もっと強くなりたい。
- * フロアホッケー大会たのしかった。またやりたい。面白かった。もっと強くなりたい。
- * 練習をたくさんやって強くなりたい。
- * たのしかった。
- * 初めて長野県に行き、フロアホッケー大会に参加して、試合に出場して、頑張った。また大会に参加したい。練習も頑張る。
- * 大会に参加して、とても楽しかった。皆と一緒にプレーしたり、応援したいするスポーツは楽しい。皆と食べる、お昼ご飯も、とても美味しく感じた。是非また参加したい。
- * フェアプレーで笑顔を心掛け、良い試合ができたと思う。
- * 初めての参加だったが、互いに励まし合い楽しい大会となった。まだ参加したことのないメンバーも次の大会は一緒に楽しさを分かち合いたい。皆が活躍できる練習やポジションなど考えることが多く、むきになってしまう位、良い経験ができた。ありがとうございました。
- * 他のチームの動き方が、自分達のチームの動きとは違い、驚かされることがあった。チームの皆も、良く動き、応援していたので、とても良かった。
- * コーチでの参加だったが、選手として出場したかった。思っていたよりも強いチームだった。
- * 他のチームは、自分のチームよりもスピードがあり、攻撃の威力の違い(練習量の差)を感じた。初めて大会に参加したが、思っていたよりも楽しかった！
- * 久しぶりの大会だったが、参加人数が少なく感じた。開会式の段取りが、もう少しスムーズにできるとなお良い。
- * 皆の気持ちが1つになり、同じ目標に向かって気持ちが高まることは良い経験になる。やっぱり楽しい！

12チーム 長野市で4年ぶりの熱戦



パスをつないでゴールを目指す選手たち

第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会



選手宣誓で健闘を誓うにこにこ中部の選手たち

開会式では、参加チームを代表して「ここにこ中部」の選手たちが高らかに選手宣誓。選手代表や主催者らによる始球式を行い、フェイスオフに向けて熱気が高まりました。県内外から企業や大学生、社会人クラブなどが出場。スティックを手にした選手たちは懸命にバックを追い、会場からは、大きな拍手や声援が送られました。また、競技普及を目的とした体験会も開催し、参加者はパスやシュー

ト体験を楽しみました。2005年に県内で開いたスペシャルオリソンピックス(SO)冬季世界大会で実施されたフロアホッケーを広くめようと、長野市では翌年から全日本大会を開催。これを引き継ぐ形で11年から関東甲信越大会を開催しています。今大会は、新型コロナウイルスの影響で2019年以来4年ぶりの開催となりました。大会には、障害の有無や年齢、性別を超えて楽しめるこの競技を

フロアホッケー 記念新聞

特別号
発行
信濃毎日新聞社
事業局
〒380-8546
長野市南県町657
電話 026-236-3399
ファクス 026-236-3370



伝える、つながる。
信州 未来へ

出場チーム (順不同)

M-ya!-echoes山 with ゴシ隊	どんぐり・エース
M-ya!-echoes雅 & Kisaragi	どんぐり・ブラボー
Goshitai Jr.	エフビコ東京 ピンクパンサーズ
湘南シーガル	エフビコ茨城nevers
KAAC イエロー	にこにこ中部
KAAC レッド	ホワイトシュリンプス

通じて、だけれど生き生きと輝ける社会をつくらうとの願いが込められています。今回も「インクルーシジョン(包み込む共生)」の実践などから選ぶ最優秀チームに「信濃毎日新聞社杯」を贈ります。



和やかな雰囲気で行われた始球式



いつでも どこでも
手のひらに 信州を
信濃毎日新聞デジタル





【編集後記】

4年ぶりの開催で準備段階からバタバタしていましたが、第10回大会も無事に開催することができましたことは、ひとえに協賛いただいた皆さま、参加者・ボランティア・スタッフ・大会関係者の皆さまほか大勢の方々のご理解・ご協力の賜と、心から感謝いたします。

今年は、体験会も同時開催し、参加いただいた皆様にはフロアホッケーを実践して理解いただき、楽しんでいただけたかと思います。

また来年も皆様の笑顔にお会いできるよう、準備を進めてまいります。

ありがとうございました。

総務部長 峯村理恵子

第10回関東甲信越フロアホッケー競技大会

順不同・敬称略

【協賛いただいた企業・団体】

信濃毎日新聞社

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

日本マクドナルド株式会社

スーパースポーツゼビオ長野南高田店

Big Wave 有限会社ビッグウェーブ、長野翔和学園、丸本洋酒店、
株式会社ながのアド・ビューロ

有限会社デリカシマダ、株式会社北揚、株式会社成田オート商事、株式会社長橋商会、
ウインズ長野店、西沢印刷株式会社、株式会社夏目

淵之坊、スケートハウス長野 カリメーラ

【助成をいただいた企業・団体】

栗田病院

一般社団法人長野県医師会

一般社団法人長野県歯科医師会

公益社団法人長野県柔道整復師会

公益社団法人長野県看護協会

株式会社エフピコ

特定非営利活動法人 日本フロアホッケー連盟

〒163-6035

東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 新宿オークタワー35階

電話 03-5325-7802

長野県フロアホッケー連盟

〒380-0821

長野市鶴賀上千歳町1120-17 Alegriaビル7階

電話&FAX：026-225-5657